

近代英語協会ニュースレター

2016年(平成28年)9月7日

近代英語協会事務局分室

〒722-8506 広島県尾道市久山田町 1600 番地 2

尾道市立大学芸術文化学部平山研究室内

協会ホームページ <http://www.modernenglish.jp/html>

電話: 0848-22-8311(代表番号)

年会費振替口座 00810-9-5821

1 第33回大会の報告

去る6月25日(土)に、安田女子大学において開催され、1件のシンポジウム、5件の研究発表、岡山理科大学の地村彰之先生による講演が行われました。発表者と司会者の皆様、お疲れさまでした。ご参加いただいた会員の皆様には、熱心にご清聴いただき、また、貴重なコメントや質問をお寄せいただき、誠にありがとうございました。42名の方が出席された懇親会では、諸々の話題に花が咲き、瞬く間に90分が過ぎ行きました。

今大会の参加者数は84名でした。多くの皆様にご参加いただき、大変喜んでおります。どうか会員の皆様には、次回も万障お繰り合わせの上ご出席を賜りますようよろしくお願い申し上げます。なお、年度別参加者数は次のとおりです。

年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
大会	約80	72	85	79	84	83	92	84
懇親会	25	39	38	40	39	40	48	42



大会の一場面



シンポジウム司会の中尾佳行先生、
講師の和田章先生、堀正広先生、
滝沢直宏先生(左から)

2 第34回大会について

次回大会は、2017年6月24日(土)、東京都渋谷区の青山学院大学において開催を予定しております。シンポジウムは、服部義弘先生を司会として音韻史に関するテーマで行われます。

個人研究発表の締め切りは 2017年1月31日(火) です。発表をご希望の方は、(a) 発表題目と300字程度の要旨、(b) 氏名・所属・職位・略歴・連絡先(住所、電話番号、e-mailアドレス)・大会発表助成金希望の有無(詳細は4ページ「9」参照)を別文書として作成し、下記の(ア)、(イ)いずれかの方法でお申し込み下さい。

(ア) 電子メールによる応募

- ・(a) MSWord 文書、及びその pdf. ファイルを添付。
- ・(b) MSWord 文書のみ。

宛先 hirayama@onomichi-u.ac.jp

(イ) 郵送による応募

- ・(ア) の(a)又は(b)を入れたフロッピーディスクまたは CD-R
- ・打ち出し原稿

宛先 〒722-8506 広島県尾道市久山田町 1600-2
尾道市立大学 芸術文化学部 平山直樹

3 理事の交替について

2017年3月31日をもちまして、太田聡氏、鈴木敬了氏、村上まどか氏、脇本恭子氏の4名の理事が任期を満了し退任されます。長きに渡り協会の発展にご尽力頂き、誠に有り難うございました。なお、新理事として、石崎保明氏(南山大学)、小倉美恵子氏(鶴見大学名誉教授)、川端朋広氏(愛知大学)、地村彰之氏(岡山理科大学)が就任されます。任期は、小倉氏が2017年4月1日～2019年3月31日の1期2年、石崎氏、川端氏、地村氏が2017年4月1日～2021年3月31日の2期4年です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

4 顧問の追加について

現在の豊田昌倫氏(京都大学名誉教授)と中野弘三氏(名古屋大学名誉教授)に加えて、秋元実治氏(青山学院大学名誉教授)と米倉緯氏(京都府立大学名誉教授)が、2017年4月1日より新顧問として就任されます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

5 編集委員長の交替について

2016年3月31日をもって、川端朋広氏（愛知大学）が編集委員長の任期を満了し退任されました。新編集委員長として、柴崎礼士郎氏（明治大学）が選出され、就任されました。任期は2016年4月1日～2018年3月31日の2年間です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

6 『近代英語研究』 第32号の発行について

第32号は予定どおり刊行され、大会ご出席の会員の方々には当日お渡しいたしました。当日ご欠席の会員の方々には、このニューズレターとともに同封致しました。

7 『近代英語研究』 第33号の原稿募集について

第33号（2017年6月発行）の投稿締め切りは2016年9月15日（木）となっております。奮ってご応募ください。審査は匿名で行われます。投稿規定・応募要領等は、『近代英語研究』の巻末、または協会ホームページ左下「出版物」の中の「投稿要領」をご覧ください。

8 近代英語協会最優秀新人賞ならびに優秀学術奨励賞の選考結果について

本年度は、3名の応募者があり、編集委員会による厳正なる審議の結果、下記のとおり1名の優秀学術奨励賞受賞者が決定いたしました。次年度も応募をお待ち致しております。

賞の名称：優秀学術奨励賞

受賞者氏名：渡辺拓人（熊本学園大学）

受賞対象論文名：近代英語期英訳聖書における未来表現の変遷

— ギリシア語迂言未来表現 $\mu\acute{\epsilon}\lambda\lambda\omega$ + inf. の訳語を通じて —

受賞理由

本論文は、近代英語期における未来表現の変遷を、16世紀から19世紀までの13の英訳新約聖書を用いて検証している。ギリシア語の近接未来表現「 $\mu\acute{\epsilon}\lambda\lambda\omega$ + inf.」に当てられている訳語を通じて、それらがおのおのの版でどのような英語に訳されているかということをも丹念に調査し、数値的な変遷を示すとともに、当該形式が訳語として用いられた理由を様々な角度から分析している。

一見すると、限られたジャンルの限られた表現を扱っているとも解釈されうるテーマであ

るが、筆者は先行研究の検討においても、コーパス等を用いた通時的語法分析に言及しており、研究の主たる目的はむしろ、英訳聖書における原典と英語版の対応関係を検証することで、近代英語期の未来表現についての総合的な理解を得ることと考えられる。その点において、本論文は極めて野心的で、独自性に富むものである。

英訳聖書、なかでもいわゆる **Authorized Version** などは、言語的な規範となる存在でもあったという側面もあり、ここで採られている研究手法は歴史社会言語学的な意味でも一定の妥当性を有すると言えよう。しかしながら、今少しばかりの要望を付するとすれば、各英訳聖書の翻訳方針、底本、系譜関係などについては、もう少し丁寧な議論が望まれるところであった。今後、そうした部分を補うことにより、より一層の飛躍が期待できる、刺激的な論考であると考えられる。

以上の理由により、本論文は「優秀学術奨励賞」に相応しいと判断する。

— 『近代英語研究』編集委員会

なお、既にご案内のとおり、賞には、最優秀新人賞と優秀学術奨励賞の2種類があります。若手による当該年度の掲載論文の中から、前者は特に秀でていた論文に、後者は、最優秀新人賞には至らないが将来性を感じさせ優れていると評価された論文に与えられます。論文応募の際、「執筆者情報ファイル」の該当欄に(✓)をご記入いただくだけで結構です。選考対象は、「協会誌への掲載が可となった、投稿締切日時点で37歳以下の、または修士号取得後10年以内の執筆者による論文のうち、原稿応募時に「執筆者情報ファイル」において賞の選考を希望する意思が表明されていた論文」(選考規程第2条より)です。最優秀新人賞には表彰状と記念品が、優秀学術奨励賞には表彰状が授与され、その栄誉が讃えられます。

9 『近代英語研究』電子アーカイブ化

独立行政法人科学技術振興機構のサイトに、『近代英語研究』が電子アーカイブ化されております。次のサイトにアクセスしていただければ、創刊号から第24号(2008)までの論考をパソコン画面上でお読みいただいたり、印刷してご活用いただけます。

- ・ 検索サイト (Google、Yahoo など) で「j-stage」と入力して検索
- ・ 「J-STAGE トップ-科学技術振興機構」、「記事検索 - J-Stage - 科学技術振興機構」などをクリック
- ・ 右上の検索ボックス上のタブで「誌名」を選び、「近代英語研究」と入力して検索
- ・ 青字の「近代英語研究」をクリック

- ・ 画面左端の「巻号一覧 近代英語研究」からお探しの号をクリックし、目指す論考の「本文 PDF」をクリックしてください。
(※ 近代英語協会のホームページ<<http://www.modernenglish.jp/index.html>>左下の「出版物」からもリンクされています。)

なお、『近代英語研究』の冊子と同様に、すべての著作権は本協会に帰属することをご了解いただきたく存じます。

10 大会発表助成金制度について

今年度の第 33 回大会より、若手研究者を中心に、学会参加のための費用を軽減して学会における発表を奨励するための、大会発表助成金制度が始まりました。助成金対象者は、大会発表を行う大学院生・常勤職のない会員（申請時 37 歳以下、または修士号取得後 10 年以内で、所属機関等より大会会場への交通費の補助を受けていない者）を対象と致します。また、助成金額は、自宅から大会会場までの国内交通費（往復）とし、交通費の計算は協会事務局が行います。なお、申請方法は、大会発表の受理後に、申込用紙（発表投稿時に希望を明記）に詳細を記入し、事務局に提出頂きます。この制度により、より多くの若手研究者が本協会において発表されることを期待しております。

11 熊本地震に対する措置について

今年 4 月の熊本地震で被災された会員の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。このたび、熊本県と大分県に在住の会員の皆様においては、今年度の会費を免除させていただくこととなりました。なお、今年度すでに会費を納入されている場合は、来年度 1 年分の会費を免除させていただきます。該当の会員の皆様には、別途お知らせいたします。

12 ホームページの図書紹介欄の新設について

会員の皆様が出版された文献を本協会のホームページでご紹介いたします。紹介されたい会員ご自身の出版・著書がございましたら、何年前のものでも結構です。タイトル、表紙の写真、および、著者が作成した紹介文を添付し、IT 管理の川端朋広先生まで電子メールでお送りください。なお、書籍の実物については、保存スペースの関係上、事務局への送付はご遠慮ください。

13 会費納入のお願い

本年度大会の資料をお届けした5月下旬、会員お一人お一人に過去3年間の会費納入の記録を記した紙を同封いたしました。どうか、いま一度ご確認いただき、納入漏れののないよう今年度中に請求額全額をお振り込みいただきますようお願い申し上げます。協会の円滑な運営のため、ご協力ください。なお、協会は、別途領収証を発行することは致しておりません。郵便局からお受取りになる領収証（右端の紙片）以上に公式な領収証はございませんので、大切に保管なさってください。また、納入の際は、必ず払込用紙にお名前のご記入をお願い申し上げます。

14 David Denison 教授日本講演のご案内

マンチェスター大学名誉教授・英国学士院特別会員である David Denison 氏が、日本学術振興会の招きで来日されます。詳細は受け入れ研究者である愛知県立大学の中村不二夫先生が作成された以下の案内をご参照ください。参加ご希望の方は、中村先生まで電子メールでお知らせください（nakamura@for.aichi-pu.ac.jp）。ホームページにも同内容を掲示いたします。

David Denison 教授日本講演のご案内

近代英語協会会員各位

マンチェスター大学名誉教授・英国学士院特別会員である David Denison 氏が、日本学術振興会の招きで来日されます。

次の4箇所で開催を行いますので、お近くの会場へご出席いただけますれば幸甚に存じます。（私費でご購入の書籍にサインをいただくと存じます。）予定教室でよいか心配ですので、ご出席いただける方は、10月末日までに、受入研究者宛て電子メールでお知らせください。件名「デニソン教授講演」、本文「〇〇地区講演に参加します。氏名」の短い内容で結構です。今年度は教務委員を務めており、学生からたくさんメールが届きます。皆様からのメールを見落とさないために、よろしくご協力ください。

11月22日（火）15:00—16:30

関東地区講演 “Aspects of English historical syntax”

於 青山学院大学 11号館 7階 1172教室 共催 青山学院大学英文学会

11月26日（土）13:30—15:00

近畿地区講演 “English letter-writing: teaching history of English by research”

於 関西外国語大学本館 2階多目的ルーム 共催 関西外国語大学国際文化研究所

12月03日(土) 13:00-16:00

中国地区講演 “Some problems in corpus-oriented English historical syntax”
於 広島大学霞キャンパス歯学部講義棟1階第6講義室 共催 広島英語研究会

12月7日(水) 13:00-14:45

中京地区講演 “Word classes and syntax in English: interesting problems”
於 愛知県立大学 S101 教室 共催 愛知県立大学研究支援・地域連携課

また、個別の学術交流を希望する方のために、12月5日(月) 午後 13:00-16:00(終了予定) を設定しています。本学での氏の研究室で研究討論していただきます。時間調整のため、ご希望の方は、10月末日までに電子メールでお知らせください。件名欄には「デニスン教授との交流」とお書きください。先着4名とさせていただきます。

受入研究者 愛知県立大学外国語学部英米学科
中村不二夫 (nakamura@for.aichi-pu.ac.jp)

15 事務局より

菊池繁夫先生を会長とする2015年10月からの新事務局の1年目が終了しようとしております。不慣れな事務処理で、ご不便をお掛けしたこともあったと存じますが、会員の皆様のご協力により、初めての大会運営も無事遂行することができました。心より御礼申し上げます。

協会に関するお問い合わせとご連絡は下記の連絡先までお願いいたします。

- 協会誌について
坂内宏行
(sme.meajapan@gmail.com)
- ホームページについて
川端朋広
(kawabata@aichi-u.ac.jp)
- その他全般について
平山直樹
(hirayama@onomichi-u.ac.jp)

なお、事務局側から会員の方へご連絡を差し上げることもございますので、住所、所属、e-mail アドレス、会員資格等に変更が生じた場合、速やかに事務局長までお知らせください。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

事務局長 平山直樹